

平成 31 年度事業計画

(自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日)

公益財団法人

石井育英会

平成31年度 事業計画書

公益財団法人石井育英会は、平成29年4月1日の公益財団認定日から2年目を迎えようとしています。石井育英会は、福岡県福岡市博多区に本社を置く三和ホールディングス株式会社の創業者である石井和俊会長が、私財を投じて優秀な大学生に対し奨学援助を行い、学生の心身の健全な発達及び豊かな人間性を涵養することを通じ、地元福岡の将来を担う人材の育成に寄与することを目的に設立されました。

修学の意欲がありながら、経済的理由でその夢を諦めることのないよう、一人でも多くの若者がその機会を得る為の支援を公益財団として奨学金給付事業、並びに研修事業を年間を通じ行っております。

各奨学生が受け取る年間60万円の給付金は、授業料及び生活費など貴重な財源となるだけではなく、アルバイトに費やす時間を減らせることで学業の時間を確保出来ること、個々の目指す専門職を学ぶ教材を購入すること、部活動や学外の社会勉強の支えとして役立っているという感謝の声が奨学生より寄せられております。

研修事業においては、普段関わるのが少ない社会人と共に参加する研修事業を通じ、卒業後に向けて必要となる学び場作りを拡大しています。

平成31年度には、第3期の奨学生を迎え、医療、ビジネス、コンピューター、航空学、そして宇宙技術の開発と高い目標を目指す素晴らしい奨学生を支える石井育英会の各事業を更に強化して参ります。

1. 奨学金給付事業

経済的な理由で、大学進学をあきらめてしまう優秀な者に対して援助を行なうために奨学金を給付します（留学生は対象としておりません）。平成31年度は、以下の条件を満たす大学生20名～30名程度に一人当たり月額50,000円を支給予定です。

- ① 福岡県内の大学に在学。
- ② 経済的理由により就学困難な者（世帯年収600万円以下、就学中の兄弟姉妹が本人含め3名以上の場合700万円以下）
- ③ 学業優秀であり、研究意欲の旺盛である者
- ④ 石井育英会奨学生としての心得を遵守すること

前期指定正味財産期末残額、3億4000万円についてはその全額を平成31年度奨学金給付の財源として充てることとします。

2. 奨学生への研修事業

石井育英会では、平成30年度より第2期生を迎え入れました。学生の中でも1期生が、後輩である2期生を先輩として学生社会の様々な課題について世話役となる新しい役割も加わり、このことは特に1期生にとり学びの場ともなっています。

研修事業は奨学生一人ひとりが多くの人と出会い、自らを高める機会とその場の提供を目的として年間を通じ開催致しております。毎月開催される致知出版の木鶏会では、社会人と共に特集記事について意見交換を行っています。社会人と触れ合う中で様々な社会勉強をする場となっています。

この他に経営についての研修として、MG研修を隔月に開催しており、ここではビジネスを運営するに必要な知識をゲーム感覚で学び、更に外部より参加される事業者様等との交流も生まれています。

これらの機会を通じリーダーとなる人材を育成すること等を目的として開催される研修を今年度はより多くの参加生徒のなかで充実した社会学習の場を創生して参ります。これには、三和グループ研修施設「愛宕浜 迎賓館」宿泊施設を利用した奨学生の交流を深める機会を作ることなどが含まれます。

研修事業内容

- ① 当財団が開催、または参加する各種セミナー
- ② 設立者が会長を務める三和グループ主催の研修・セミナー
- ③ その他外部研修への参加
- ④ 国際的な研修の場、及びそのサポート

平成 31 年度度資金調達及び設備投資の見込

公益財団法人 石井育英会

(1) 資金調達の見込みについて

30 年 6 月に石井啓子様より上場株式会社のご寄附をいただき、平成 30 年度は基本財産である当該株式に係る配当金収益が 9,000,000 円ありました。しかし、当該株式の発行法人の決算事情により、31 年度上期の配当(30 年度は 6 月に収受)はしないとの報道があったことから、31 年度は配当の収益を予算建てしないこととしています。しかしながら、収益については、支援者である個人・法人からの寄附が見込まれること及び指定正味財産の一般正味財産への振り替えにより十分に対応できる予定であります。また、上記のことからも当期中における借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資の予定はありません。

以上

平成31年度 収支予算書

平成31年 4月 1日から平成32年 3月31日まで

法人名：公益財団法人石井育英会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	予算額	前年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
(1) 経常増減の部				
① 経常収益				
基本財産運用益	9,000,000	0	9,000,000	
基本財産受取配当金	9,000,000	0	9,000,000	
受取寄付金	4,606,280	13,221,000	-8,614,720	
受取寄付金	4,606,280	13,221,000	-8,614,720	
雑収益	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
経常収益計	13,606,280	13,221,000	385,280	
② 経常費用				
事業費	12,880,000	12,118,000	762,000	
旅費交通費	30,000	69,000	-39,000	
通信運搬費	0	49,000	-49,000	
広告費	0	0	0	
消耗品費	20,000	0	20,000	
支払奨学金	12,600,000	12,000,000	600,000	
奨学生懇親会費	200,000	0	200,000	
面談会議費	20,000	0	20,000	
研修費	0	0	0	
委託費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
雑費	10,000	0	10,000	
管理費	726,280	1,103,000	-376,720	
旅費交通費	5,000	0	5,000	
広告費	0	0	0	
通信運搬費	65,000	0	65,000	
減価償却費	116,280	116,000	280	
消耗品費	5,000	15,000	-10,000	
渉外費	0	0	0	
委託費	300,000	0	300,000	
賃借料	100,000	97,000	3,000	
修繕費	10,000	0	10,000	
租税公課	10,000	30,000	-20,000	
雑費	115,000	845,000	-730,000	
経常費用計	13,606,280	13,221,000	385,280	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
(2) 経常外増減の部	0	0	0	
① 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
② 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	0	0	
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	0	3,713,000	-3,713,000	
一般正味財産への振替額	-3,910,000	-13,221,000	9,311,000	
当期指定正味財産増減額	-3,910,000	-9,508,000	5,598,000	
指定正味財産期首残高	340,000,000	9,508,000	330,492,000	
指定正味財産期末残高	336,090,000	0	336,090,000	
III 正味財産期末残高	336,090,000	0	336,090,000	

平成31年度 収支予算書内訳表

平成31年 4月 1日から平成32年 3月31日まで

法人名：公益財団法人石井育英会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	公 1	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
(1) 経常増減の部			
① 経常収益	12,910,000	696,280	13,606,280
基本財産運用益	9,000,000	0	9,000,000
基本財産受取配当金	9,000,000		9,000,000
受取寄付金	3,910,000	696,280	4,606,280
受取寄付金	3,910,000	696,280	4,606,280
雑収益			0
受取利息			0
経常収益計	3,910,000	696,280	4,606,280
② 経常費用	12,910,000	696,280	13,606,280
事業費	12,880,000	0	12,880,000
旅費交通費	30,000		30,000
通信運搬費			0
広告費			0
消耗品費	20,000		20,000
支払奨学金	12,600,000		12,600,000
奨学生懇親会費	200,000		200,000
面談会議費	20,000		20,000
研修費			0
委託費			0
賃借料			0
租税公課			0
雑費	10,000		10,000
管理費	30,000	696,280	726,280
旅費交通費		5,000	5,000
広告費			0
通信運搬費	5,000	60,000	65,000
減価償却費		116,280	116,280
消耗品費		5,000	5,000
渉外費			0
委託費		300,000	300,000
賃借料		100,000	100,000
修繕費		10,000	10,000
租税公課		10,000	10,000
雑費	25,000	90,000	115,000
経常費用計	12,910,000	696,280	13,606,280
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
(2) 経常外増減の部			0
① 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
② 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			0
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			0
受取寄付金			0
一般正味財産への振替額	-3,910,000	0	-3,910,000
当期指定正味財産増減額	-3,910,000	0	-3,910,000
指定正味財産期首残高	340,000,000	0	340,000,000
指定正味財産期末残高	336,090,000	0	336,090,000
III 正味財産期末残高	336,090,000	0	336,090,000